

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

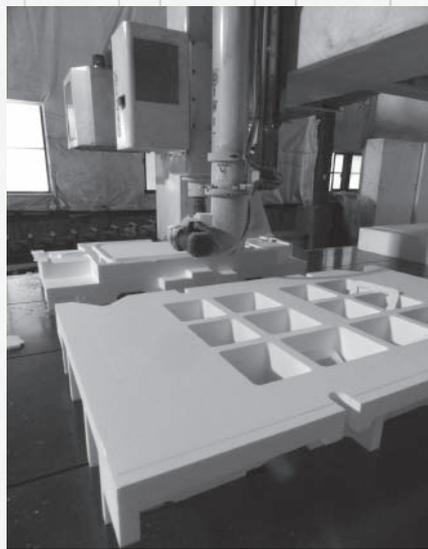
発泡フルモールド 铸造法

株式会社亀山铸造所

「はやい、やすい、うまい」で 不況時にこそ強みを発揮する 特殊な铸造法を導入

大手鉄鋼メーカーが集積する西播磨地区にはかつて多くの鋳物業者が集積していました。しかし、国内メーカー同士の競争激化、さらに海外からの安価な鋳物製品の流入に伴い「ピーク時には20社ほどあった同業者は現在では当社を含め2社にまで減ってしまいました」と亀山佳裕社長は言います。

平成15年、同社も存廃の淵に立たされていました。経営の全権を握っていた2代目社長が亡くなり、同時期に取引先が倒産したことで売り上げが大幅に落ち込んだのです。父から経営を引き継いだ亀山社長は思い切って、CADデータ製作から型、鋳物製造までを一貫して行う発泡フルモールド鋳造法の導入を決断



発泡スチロールで製作した型は砂で周囲を固められる。そこに溶けた金属を流し込むと発泡スチロールが消失し、鋳型が出来上がる。



設計図を基に3次元データを作成する

します。この鋳造法は、発泡スチロール製模型と溶湯（溶かした金属）を置き換えて鋳物を製造する方法で、短納期で複雑形状の鋳物が簡単に製造できるメリットがあります。

それまでの型作りは木型メーカーに外注していたため納期が読めず、コストもかさんでいました。全ての工程が内製化され、工程の無駄を徹底的に見直した結果、同様の製造法を取り入れている企業が1か月を要する納期を2週間にまで短縮することができました。リーマン・ショック後は、「カメチュー」と組めば競争力がつく」と納期、コストに厳しい自動車関連部品メーカーからの発注が相次ぎ、取引先がそれまでの20社から80社にまで増えたそうです。

このほど兵庫県から3回目の経営革新計画の承認を受け、新たに電気炉を2台増設。電気代の安い夜間電力を使って溶湯を生産することでさらなるコストダウンに挑もうとしています。

◎株式会社亀山铸造所の
発泡フルモールド鋳造法

株式会社亀山铸造所 / 所在地: 揖保郡太子町原519 / 代表取締役社長: 亀山佳裕
事業内容: 試作3D設計、発泡スチロール製模型を使った試作模型、量産金型鋳物の製造
TEL 079-276-0471 / URL <http://www.kc-kameyama.com/>

編集後記

「成長期待企業のイチオシ!」にご登壇いただいた亀山铸造所は、日々あらゆる工程を見直し、社員の仕事に対する意識を高め、圧倒的な短納期を実現し顧客の支持を得ています。その取り組みは日本のものづくりが勝ち残る道を示しているように思います。

JUMP

2012年12月号 平成24年11月30日発行
発行人: 表具喜治 編集人: 深田修司

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

URL <http://web.hyogo-iic.ne.jp>

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル6階

TEL 078-291-8526